PART4 第一次世界大戦前後の日本と欧米

Chapter1　第一次世界大戦前・大戦中の日本と欧米

目標
日露戦争後，日米関係が悪化した背景を理解しよう。
第一次世界大戦中，日本が大戦景気となった理由を考えよう。

1　第一次世界大戦前の日本と欧米

第一次日英同盟協約を締結（1902年）して日露戦争（1904～05年）に勝利，不平等条約の改正も達成した日本に対し，欧米で**黄禍論**が広がり警戒意識が強くなった。

①〔　　　　　　　　　〕→日露戦争後，**満州市場をめぐり日米関係は悪化**

A　満州問題

日露が共同してアメリカを市場参加させなかった

B　**在米移民問題**

西海岸のカリフォルニア州を中心に日本人排斥運動が激化

※日本は日米紳士協定を結び，ハワイを含む新たな移民希望者に旅券を発行しないことを約束（1907～08年）。

②〔　　　　　　　　　〕→日露戦争後，**日英関係は次第に冷却**

A　**第二次日英同盟協約**（1905年）

あ　適用範囲を極東からインドまで拡大

い　有効期限 10年の**攻守同盟**に

B　**第三次日英同盟協約**（1911年）

あ　**アメリカの第三国適用を除外**

い　有効期限 10年

③〔　　　　　　〕→日露戦争後，**日露両国が接近**

A　**第一次日露協約**（1907年）

日本が**南満洲・韓国**，ロシアが北満州・外蒙古を勢力範囲とすることを約束

B　第二次日露協約（1910年）

アメリカの満州進出を阻止するための共同行動を約束

C　第三次日露協約（1912年）

日本が東部内蒙古，ロシアが西部内蒙古を利益範囲とすることを約束

2　第一次世界大戦中の日本と欧米

①**日本**→好景気を背景に大陸へ進出

A　〔　　　　　　　　〕を口実としてドイツに宣戦し協商国〔連合国〕側で参戦

B　**大陸への進出**

あ　中華民国**袁世凱**政権に対する〔　　　　　　　　　　〕**の要求**

い　軍閥の段祺瑞に対する**西原借款**

う　**シベリア出兵**の継続（1918～22年）

C　〔　　　〕**景気**（1915～19年ごろ）→成金も登場

あ　ヨーロッパへの軍需品・日用品の大量輸出

い　**アジア**への**綿織物・綿糸**輸出の伸長

う　〔　　　　　　　　〕への**生糸**輸出の伸長

D　金本位制の離脱（1917年）

アメリカ参戦の影響

成金「暗くてお靴がわからないわ」

②〔　　　　　　　　〕→日本を牽制

A　**ドイツの無制限潜水艦作戦に激怒**し参戦を表明（1917年）

B　金本位制の離脱（1917年）

C　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕**協定**（1917年）

中国の領土保全・門戸開放と日本の特殊権益を確認

D　**シベリア出兵**（1918～20年）

イギリス・フランス・日本などを誘いロシア革命に干渉

③**ロシア**→ロシア革命で崩壊

A　**第四次日露協約**（1916年）

アメリカ・イギリスの中国支配を防ぎ極東での相互の特殊利益擁護を約束

B　**ロシア革命**（1917年）

帝政ロシアが崩壊してソヴィエト政権が成立

まとめ　日露戦争後，満州問題と在米移民問題で日米関係は悪化した。
第一次世界大戦中，日本は戦場にならず，欧米，アジアそれぞれの貿易が拡大して好景気を迎えた。

Chapter2　第一次世界大戦後の日本と欧米

目標
1920年代，欧米相手に日本がどんな外交を展開したか理解しよう。
1920年代，日本が中国でとっていた行動をおさえよう。

1　ワシントン体制下の日米・日中関係

①**協調外交**の展開

原敬以降の内閣は，アメリカを中心とする国際協調・軍備縮小のヴェルサイユ・ワシントン体制を積極的に受け入れた。

※アメリカも，ウィルソン大統領（民主党）の理想主義的な外交から，ハーディング→クーリッジ→フーヴァー大統領（いずれも共和党）の現実主義的な経済外交に方針を転換し，日米関係も良好だった。

※日本は主に〔　　　　　〕を輸出，アメリカから機械類や石油を輸入した。

②中国との関係悪化

A　**第一次**〔　　　　　〕**合作**（1924年）

中国国民党の孫文が中国共産党との協力体制を確立

B　**五・三〇事件**（1925年）→**五・三〇運動**へ

上海の**在華紡**で発生した中国人労働者のストライキが反帝国主義の大暴動へと発展

五・三〇運動

2 第一次世界大戦後の日本外交年表

1919年　〔　　　　　〕**講和会議・ヴェルサイユ条約**

三・一独立運動（朝鮮）・五・四運動（中国）

1920年　〔　　　　　　　　　〕の成立→本部はスイスのジュネーヴ

1921年　〔　　　　　　　　　　　　〕**会議**（～22年）・**四カ国条約**

1922年　**九カ国条約・ワシントン海軍軍縮条約**（主力艦の保有制限）

シベリアからの撤兵完了

1924年　第一次国共合作

1925年　**日ソ基本条約**→社会主義国ソ連を承認

五・三〇運動

1926年　蔣介石による北伐開始

1927年　上海クーデターにより国共合作崩壊・南京に国民政府成立

第一次山東出兵・東方会議

ジュネーヴ海軍軍縮会議が決裂

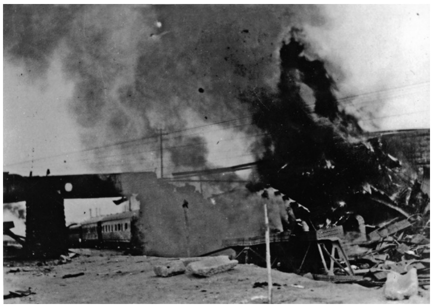
1928年　北伐再開

第二・三次山東出兵→出兵中に武力衝突の済南事件起こる

張作霖爆殺事件〔満州某重大事件〕

（パリ）**不戦条約**〔ブリアン・ケロッグ条約〕

1930年　〔　　　　　　　　　〕**海軍軍縮会議・ロンドン海軍軍縮条約**（補助艦の保有制限）



張作霖爆殺事件

まとめ　1920年代，日本は対欧米に関しては「協調外交」の立場をとっていた。
1920年代，日本はワシントン体制の枠組みの中で，さらなる中国進出をはかった。

第 9 講　PART4　確認問題

1 アメリカの第三国適用除外を決定したのはどれか。

① 第二次日英同盟協約　② 第三次日英同盟協約
③ 第二次日露協約　④ 第三次日露協約

2 日本が南満洲・韓国，ロシアが北満州・外蒙古を勢力範囲とすることを定めたのはどれか。

① 第一次日露協約　② 第二次日露協約
③ 第三次日露協約　④ 第四次日露協約

3 日本が西原借款を行ったのは中華民国の何政権に対してか。

① 孫文　② 袁世凱
③ 段祺瑞　④ 蔣介石

4 第一次世界大戦中，アメリカへの輸出の中心となった品目はどれか。

① 生糸　② 綿糸
③ 綿織物　④ 軍需品

5 1917年に日本が石井・ランシング協定を結んだ国はどれか。

① アメリカ　② イギリス
③ フランス　④ ドイツ

6 第一次国共合作で，中国共産党との協力体制を確立したのは中国国民党のだれか。

① 蔣介石　② 段祺瑞
③ 孫文　④ 袁世凱

7 パリ講和会議の結果として，連合国とドイツの間で締結された第一次世界大戦の講和条約はどれか。

① トリアノン条約　② ブリアン・ケロッグ条約
③ ロカルノ条約　④ ヴェルサイユ条約

8 ワシントン会議に基づき成立した条約に**あてはまらないもの**はどれか。

① 四カ国条約　② ワシントン海軍軍縮条約
③ 九カ国条約　④ ロンドン海軍軍縮条約

9 主力艦の保有制限について定めた条約はどれか。

① ジュネーヴ海軍軍縮条約　② 九カ国条約
③ ワシントン海軍軍縮条約　④ ロンドン海軍軍縮条約

10 1925年に日本とソ連との間で結ばれた条約はどれか。

① 日露和親条約　② 日ソ基本条約
③ 日ソ中立条約　④ 樺太・千島交換条約

第 9 講　PART4　確認問題　解答

1 解答：②　第三次日英同盟協約は 1911 年に結ばれ，有効期限は 10 年だった。

①：適用範囲を極東からインドまで拡大することなどが決められた。
③：アメリカの満州進出を阻止するための共同行動を約束した。
④：日本が東部内蒙古，ロシアが西部内蒙古を利益範囲とすることを約束した。

2 解答：①　第一次日露協約は 1907 年に結ばれた。日本はこの協約をもとに韓国併合を進めた。

②：アメリカの満州進出を阻止するための共同行動を約束。
③：日本が東部内蒙古，ロシアが西部内蒙古を利益範囲とすることを約束。
④：アメリカ・イギリスの中国支配を防ぎ極東での日露共同戦線結成を約束。

3 解答：③　段祺瑞は中国の北方軍閥の首領で，袁世凱後の中国の実権を握った。

①：辛亥革命を成功させ，中華民国の初代臨時大総統となった。
②：辛亥革命で皇帝を退位させ，孫文から代わった臨時大総統から正式な大総統となり独裁権を握った。
④：中国国民党の孫文の後継指導者で，のちに中華民国政府を台湾に移した。

4 解答：①　戦争景気のアメリカには生糸などを輸出し，日本の貿易は大幅な輸出超過となった。

②：アジアへの輸出が伸長した。
③：アジアへの輸出が伸長した。
④：ヨーロッパへの輸出が伸長した。

5 解答：①　石井・ランシング協定では，中国の領土保全・門戸開放と日本の特殊権益が確認された。

6 解答：③　孫文は，辛亥革命を成功させ，中華民国の初代臨時大総統となった人物。

①：中国国民党の孫文の後継指導者で，中華民国政府を台湾に移した。
②：中国の北方軍閥の首領で，袁世凱後の中国の実権を握った。
④：辛亥革命で皇帝を退位させ，孫文に代わって臨時大総統となり独裁権を握った。

7 解答：④　ドイツに対して，海外領土放棄・軍備制限・賠償金などが課せられた。

①：ハンガリー王国と連合国が結んだ第一次世界大戦の講和条約。
②：1928 年に結ばれたパリ不戦条約のこと。
③：イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ベルギー・ポーランド・チェコスロヴァキアが結んだ集団安全保障条約の総称。

8 解答：④　ロンドン海軍軍縮条約はロンドン海軍軍縮会議に基づき，1930 年に成立した。

①：1921 年に結ばれた。
②：1922 年に結ばれた。
③：1922 年に結ばれた。

9 **解答：③**　ワシントン海軍軍縮条約では，主力艦の保有総トン数比率を，米・英・日・仏・伊の間で，５：５：３：1.67：1.67 と定めた。

①：ジュネーヴ海軍軍縮会議が開催されたが決裂し，条約は結ばれなかった。
②：中国の主権尊重・領土保全と，門戸開放・機会均等を確認した。
④：補助艦の保有制限について定めた条約で，1930 年に結ばれた。

10 **解答：②**　日ソ基本条約では，日本が社会主義国ソ連を正式に承認した。

①：1855 年にロシアとの間で結ばれた。
③：1941 年に結ばれた。
④：1875 年に結ばれた。